

## 建築工事：外観全体が見やすく/南テラス整備に着手

新庁舎外壁の周囲に設置していた仮設足場の解体が完了し、南・東面のみでなく、西・北面も含めた全ての側から、新庁舎の外観が見やすくなりました。(裏面参照)

また、新庁舎正面側(南側)に設置する南テラスの工事に着手し、既に施工済の基礎の上に、鉄骨製柱や屋根の設置を進めています。

加えて、内部仕上工事が最終段階に入っており、天井・壁・扉枠等の取付工事もほぼ終え、壁紙や床材の貼付作業を開始しています。今後は、屋上への配電機器・空調室外機器設置やトイレへの衛生器具設置等を進めていきます。今月下旬以降は、外構整備等も本格的に開始する予定です。

### 新庁舎コラム「新庁舎外観の特色」

新庁舎の全体像が見えるようになりました。外観の特色をご紹介します。



#### ①屋根付き歩道「南テラス」

南テラスは、屋根付きの歩道として、歩行者への日差し・雨・雪を和らげる役割を担います。今月開通したばかりの相馬福島道路の桑折高架橋や、西根堰・川の流れをイメージしています。

#### ②ロゴマーク

町の特徴を表現したシティプロモーション用ロゴを取り付けました。ロゴの色は、各階の案内表示等の色にも利用します。玄関に取り付ける町章と合わせ、親しみやすい庁舎を目指します。

#### ③縦型ルーバー(縦格子)

2・3階に設置し、庁舎内への日射を緩和すると共に、窓を開けての換気を可能にしました。屋外利用では維持管理が難しい木材は内装へ利用し、縦格子は耐久性のあるコンクリート製としました。色は桑折宿の町家のイメージを残しつつ、温かみがある淡い茶色を採用しています。

#### ④屋根・窓枠等

屋根は、旧伊達郡役所の形状を取り入れたデザインとしています。張り出した屋根により、議場等屋内への日射を緩和します。窓枠や打放しコンクリート外壁色も、郡役所を意識しました。

#### ⑤柱・梁

新庁舎は、堅固な耐震性確保のために、柱や梁が太くなっています。また、柱面を張り出して設置し、外観上も頑丈さや安心感を表現するとともに、使いやすい内部空間を実現しています。

## 新庁舎コラム「新庁舎の外観各面の現状」

新庁舎の東西南北全ての外観が見えるようになりました。今回は新庁舎の外観各面を写真で紹介します。



## 新庁舎コラム「新庁舎における太陽光発電・蓄電」

新庁舎では、環境省間接補助金である、「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」を活用し、屋上に太陽光発電・蓄電システムを導入します。

容量約 20kW の太陽光発電パネルに加え、蓄電池を整備。平常時より庁舎内で利用することで商用電力使用を抑制し、温室効果ガス排出抑制と電気使用料節減を目指します。

加えて、災害時(停電時)には発電・蓄電した電気を活用し、災害対策本部室(庁議室)照明等に利用する他、町民ロビー照明や町民の情報収集等に活用する予定です。



太陽光発電導入イメージ

### ◇今後の予定

時期	内容	備考
令和2年10月末	建物完成・検査	
令和2年11月初め	建物引渡	
11月8日(日)	町民内覧会	
11月~12月	開庁準備・引越	什器・書類・システム移転
~12月	外構工事	側溝・舗装等
令和3年1月4日(月)	開庁式	テープカット等
令和3年1月9日(土)	落成式典	講演会等

※新型コロナの状況を勘案